

中国 天台山で修行中の最澄

「ここで発見された「敦煌千仏洞出土」の資料は、北魏から唐の時代（五世紀～十一世紀）にかけてのもので、二入四行論』という題名は新資料には書かれていませんが、内容は古くから伝わる『二入四行論』と一致しており、達磨の教えとして最も古く、信頼できる貴重な文献です。ただし、達磨が直接中国語で文章を書いたわけではなく、また達磨の言葉を直接記録

したものでありません。達磨の直弟子が、当時の中国の教養と文字で師の教えを書き残し、それが中国全土、朝鮮、日本に早くから筆写されて伝えられました。例えば、日本の最澄（伝教大師）の『血脈譜』にもその一部が引用されています。したがって、『二入四行論』は達磨の語録と言ってもよいほど信頼できるものであり、中国における初期禅宗の思想を知る最も

確かな資料です。後代に展開される禅の特徴的な文章ではなく、大乘仏教、特に『維摩経』の影響を受けた論旨が見られます。同時に、『易』や孔子、老子などの言葉を使って仏法を表現しようとしています。またインドの深い瞑想的な特質と中国の生き生きとした現実的な特質が合体した初期の表現を示しています。深い瞑想と思案、生きた現実と実

「理入」と言っても、現代人が言う「理解」や「理論」「理性」とは違い、理解の分別や対立を超えた究極の絶対的な真理です。また「行入」とは、実践による悟りを説いていることで、後代の禅の特徴となる思想です。「行」という字がここに現れていることは感動的です。

理入の核心は、經典の教えを通じて根本の真理を体得し、すべての衆生が本来的に等しい仏性を持っていること

「理入」と言っても、現代人が言う「理解」や「理論」「理性」とは違い、理解の分別や対立を超えた究極の絶対的な真理です。また「行入」とは、実践による悟りを説いていることで、後代の禅の特徴となる思想です。「行」という字がここに現れていることは感動的です。

「理入」と言っても、現代人が言う「理解」や「理論」「理性」とは違い、理解の分別や対立を超えた究極の絶対的な真理です。また「行入」とは、実践による悟りを説いていることで、後代の禅の特徴となる思想です。「行」という字がここに現れていることは感動的です。

「道に入る方法は多くあるが、要約すれば二つに分けられる。一つは理入、もう一つは行入である」

つまり、天地の大道を体得する方法はいろいろあるが、すべてはこの二つの方法に帰するといえるのです。一つは理入、もう一つは行入です。ここで「入」とは「証入」、つまり悟るといふ意味です。

達磨は、後世の禅の一派が強調するような「不立文字」等の「經典不要」ではなく、經典の教えを深く信じて悟りに至ることを積極的に認めているのです。

無所求行 何事にも見返りや利益を求めず、無欲で行動すること。

行入はさらに「四行」と呼ばれる四つの具体的な実践に分かれます。これらは、達磨の教えの中で特に重視されているポイントです。

報怨行 他人から受けた恨みや苦しみを、過去の自分の行いの報いとして受け止め、恨み返さずに受け入れること。

隨縁行 すべての出来事を縁（因縁）の結果として受け入れ、執着せず、自然に任せて生きること。

両輪の関係 理入で得た真理や信念は、行入による実践を通じて現実のものとなります。逆に、行入による実践が深まることで、理入で体得した真理への理解もより深くなります。禅宗では、理入と行入の両方を重視し、知識や理論だけでなく、実践を通じてこそ本当の悟りに至るとされています。この「行入」の教えは、後の禅宗の修行法や日常生活の中での実践重視の姿勢に大きな影響を与えました。

# 旧寛永寺石灯籠

三基が寄進されました

このたび、杉並区西荻窪の若林家、荻窪の山口家の庭に長らく安置されていた旧寛永寺の石灯籠を、当寺にご寄進いただきました。

心より御礼申し上げます。住職のご親戚として、深いご信仰とご厚意を賜りましたこと、寺内一同、誠にありがたく存じます。

しかし、戊辰戦争（上野戦争）や関東大震災、戦争などで寛永寺は大きな被害を受け、境内の灯籠も散逸しました。その後、再

建寄付への返礼として一部の灯籠が地方に贈られ、現在は神奈川県茅ヶ崎市内に6基が移設されています。

並び、重厚な雰囲気を感じ出しています。案内板には寄進の由来や徳川家との関係が説明されており、歴史散策に最適です。上野

の寛永寺と茅ヶ崎の灯籠を結ぶ歴史的な縁を感じられるスポットです。

象徴として重要な意味を持ちます。江戸時代の政治・宗教・美術の融合を示す好例です。



桃源院東京別院 旧寛永寺石灯籠

灯籠は古来より、闇を破り智慧の光で人々を導くという仏教の教えを象徴するものです。その後寛永寺より、時代の移り変わりとともに、杉並の地に移され、若林家・山口家の庭で大切に守られてきました。

今回のご寄進により、再び寺院の境内に戻り、仏法を照らす光として末永く人々の心を安らげる存在となるはずで

■旧寛永寺は、江戸時代に徳川家の菩提寺として上野に建立された天台宗の寺院です。歴代將軍の供養のため、全国の大名から多くの石灯籠が寄進されました。これらの灯籠は、寛永寺境内に並び、権威と信仰を象徴する存在でした。

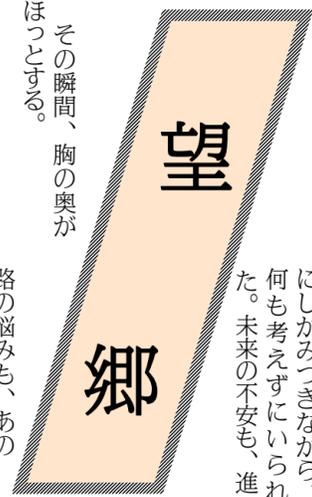
■昭和四十九年に茅ヶ崎指定重要文化財に認定。江戸時代の大名文化、徳川家の権威、そして寛永寺の歴史を物語る貴重な遺構。地方に移設された経緯も、近代以降の歴史を考える上で興味深い要素です。

茅ヶ崎市役所前の広場では、4基の灯籠が



茅ヶ崎市重要文化財 旧寛永寺石灯籠

その瞬間、胸の奥が  
ほっとする。  
後ろに乗ると、革ジ  
ヤンの匂いが鼻をつい  
った。汗とオイルが混ざ  
った。決していい匂い  
じゃない。でも、不思  
議と嫌じゃなかった。  
むしろ、その匂いに包



路の悩みも、あの  
頃にはなかった。た  
だ、スピードと匂いと  
振動だけがあった。  
思い出すのは、他に  
もある。テスト前の  
夜、父がぼつりと言っ

駅を出ると、田圃  
の風が頬をかすめた。  
先に見えるのは、あの  
人影。バイクの横に立  
つ父の姿だ。革ジャン  
を着て、無骨な立ち  
姿。少し不機嫌そうな  
顔。でも私を見つけれ  
ど、口元が緩む。



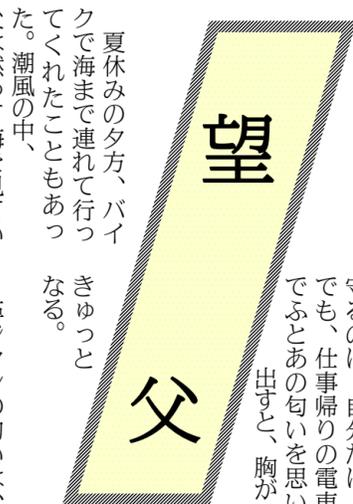
まれると、守られてい  
る気がした。世界で一  
番安全な場所は、父の  
背中だった。  
バイクが走り出す  
と、風が頬を切り、田  
圃風景が流れていく。  
制服のまま、父の背中  
にしがみつきながら、  
何も考えずにいられた。  
未来の不安も、進



私は今日もオフィス  
へ向かう。革ジャンの  
匂いを胸にしまいなが  
ら、父がくれた強さは  
、今も私の中にある。  
高校生の頃、あの  
背中にしがみついて感  
じた安心は、今、私を  
前に進ませる力になっ  
ている。そう思えるか  
ら、私は負けない。革  
ジャンの匂いは、遠い  
記憶じゃない。私の中  
で、生き続けている。



別院 秋彼岸供養会



夏休みの夕方、バイ  
クで海まで連れて行っ  
てくれたこともあっ  
た。潮風の中、  
父は黙って海を見てい  
た。私は隣でアイスをも  
食べながら、ただその  
背中を見ていた。

革ジャンの匂いは、  
私にとって「愛」その  
ものだった。照れ屋  
で、不器用で、でも確  
かな愛。

た。「勉強も大事だけ  
ど、楽しむことも忘れ  
るなよ。」その言葉  
に、私は笑った。父は  
勉強のことなんてわか  
らないくせに、なぜか  
その一言が心に残っ  
た。

何も話さなくても、  
そこに愛があった。  
今、私は東京のオフ  
イスで数字とメールに  
追われている。誰かに  
守られる感覚なんて、  
ここにはない。自分を  
守るのは、自分だけ。  
でも、仕事帰りの電車  
でふとあの匂いを思い  
出すと、胸が



父にもう一度会える  
なら、言いたいことが  
ある。「ありがとう」  
と何度でも言いたい。  
あの駅で、あの風の中  
で、もう一度。でも、  
それは叶わない。



別院 秋彼岸供養会

は、芸術の理論や哲  
学、歴史を学び、芸術  
の本質を心で理解しよ  
うとします。

色彩や構図の理論を  
学び、過去の名作を研  
究しながら、「自分が  
本当に描きたいものは  
何か」「芸術とは何  
か」という問いに向き  
合い、心の中で美の本  
質を悟る。これは「理  
入」にあたります。

一方で、画家は実際  
にキャンバスに向か  
い、筆をとって絵を描



### サッカーの場合

りりゅう  
理入=理論から入る

- サッカーの戦術書や動画を見  
て、「フォーメーションの意味」「パス回しの理屈」「ポジショニングの理由」  
を理解すること。
- 例えば\*\*「なぜ4-4-2で守備が安定するのか」\*\*を頭で理解する段階。
- 実際にプレーする前に、戦術や技術を論理的に学ぶことが理入です。

ぎょうりゅう  
行入=実践から入る

- とにかくグラウンドに出て、ボールを蹴り、走り、試合を経験すること。
- 例えば、\*\*「パスを受ける感覚」「相手のプレッシャー下での判断」\*\*を体で覚  
える段階。
- 理屈は後からついてくる。まず行動して、体験を通じて理解を深めるのが行  
入です。
- 両方のアプローチは補完し合います。理入だけだと頭でっかちになり、実戦  
で動けない。行入だけだと経験は積めるが、効率が悪く、応用が難しい。
- 理入+行入のバランスで、チーム仲間と協力し、相手を尊重しながら全力  
を尽くすことを覚えます。

### ビジネスの場合

りりゅう  
理入=理論から入る

- 経営理論・経済倫理やマーケティング戦略を学ぶ。
- MBAや書籍で「なぜこの戦略が有効なのか」を理解してから実践する。
- 例: 市場分析を徹底してから新規事業を始める。

ぎょうりゅう  
行入=実践から入る

- まず起業して、現場で顧客と接しながら学ぶ。
- 試行錯誤しながら、後で理論と倫理を補強する。
- 例: 小さく始めて、失敗から学び改善する。

どちらも\*\*「理入=頭で理解」「行入=体験で理解」という構造は同じです。  
理入は計画的・理論的\*\*、行入は実践的・経験重視。最終的には両方を組  
み合わせることで、深い理解と応用力が身につきます。



実践を通じて芸術の本  
質に近づいていく。こ  
れが「行入」です。  
次号に続く

本院は、急傾斜地の崩壊危険地区に指定  
されました。  
崩壊は、傾斜度が30度以上の斜面で発  
生しやすく、降雨や地震などの外的要因  
によって土砂が一気に崩れ、人家や道路  
に甚大な被害を及ぼす危険があります。  
危険度の判定は、斜面の高さや傾斜  
角、地盤の状態、湧水の有無、過去の崩  
壊履歴などを総合的に評価して行われま  
す。例えば、傾斜面が高く急で、亀裂や  
風化岩が見られる場合、危険度は高くな  
ります。  
都道府県知事が指定し、崩壊防止のた  
めの対策が講じられ。対策には、擁壁や  
法枠工、アンカー工などの構造物による  
斜面の安定化、地下水を排除する排水工  
事が行われました。

### 本院擁壁の修繕工事完了

